

講義科目 : 社会福祉援助技術演習Ⅲ	単位数 : 2
担当 : 千坂 克馬	学習形態 : 自由選択科目
	社会福祉士必修科目
	実務経験 : 有
	* 第2学年で履修

講義の内容・方法および到達目標

講義の内容：①社会福祉援助技術について学んできたことについて実習体験を中心に確認し、理解を深めてゆきます。②実習体験を各テーマに基づき考察し、それぞれの考察を小グループで話し合い、そこで話し合われたことを発表、全体で考えてゆくことを繰り返すことにより援助技術についての理解を深めてゆくことを目標とします。実習体験で考察できないテーマについては事例を用意します。

到達目標：さまざまな視点からケースを理解し、長期的な視点からの支援計画の立案の基本的なしくみの習得を目標とします。

授業計画

それぞれのテーマについて授業計画に基づき終了する予定ですが、演習形式なので随時調整しながら進めてゆきます。

第1部 サービス利用における支援

- 第1回 実習の振り返り：インシデントプロセス法
- 第2回 実習上の課題の整理
- 第3回 話し合い：生活支援の視点からの考察—介助とコミュニケーション
- 第4回 話し合い：就労支援の視点からの考察—活動と自立に向けて
- 第5回 話し合い：長期的視点からの就労に対する考察
- 第6回 話し合い：地域における視点の視点からの考察
- 第7回 第1部についてのレポート発表と話し合い

第2部 ケーススタディー包括的支援の視点から

- 第8回 金銭管理と食生活についての考察：失敗について考える
- 第9回 金銭管理と自立についての考察：
- 第10回 自己決定権の視点から考える
- 第11回 長期的視点からの考察：成長の視点から
- 第12回 自立の視点からの考察：
- 第13回 家族についての考察：生育歴について考える
- 第14回 家族についての考察：住環境について考える
- 第15回 第2部についてのレポート発表と話し合い

教材・テキスト・参考文献等

レジュメを準備します。

成績評価方法

- 各部の最後にレポートの提出をお願いします。
- 評価は学習態度50%、レポート内容50%です。

実務経験

社会福祉法人の児童福祉施設及びNPOにて勤務。保育士及び心理士として支援にかかわる実務経験をもとに社会福祉援助技術についての演習をおこないます。